

## ● 自己評価結果

## 1. 教育理念

評価項目	評価達成結果
学校の理念、目的、人材育成は定められているか	4 ③ 2 1
学校の理念、目的、人材育成特色が保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

## (1).課題

○教育理念や求められる学生像については、「学習の手引き」を配布し常に教育理念の浸透に努めてきた。また、儀式中に求められる学生像について話したり、日々の指導の中で具体的に伝えたりしてきた。

○今年度は、学校通信の発行やHPでの情報公開により保護者にも周知を広げようとしたが、周知努力はまだ必要である。

## (2).今後の改善方策

○情報周知のために、今年度のような方法で伝える努力を地道に続けていく。

○グランドコンテスト等実際に見ていただくことで理解が深まるので、多くの方に応援に来ていただくよう呼びかける。

## 2. 学校運営

評価項目	評価達成結果
目的に沿った学校運営方針や事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則において明確に機能しているか	4 ③ 2 1
教務、財務等の組織整備は、適切に行われているか	4 ③ 2 1
人事、給与に関する規則は整備されているか	4 ③ 2 1
教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

## (1).課題

○専修学校設置基準および美容師養成施設指定規則を遵守し、教職員の採用ならびに組織編成が実施されている。美容師養成施設指定規則による基本的方針教員基準に基づき、専任教員および兼任教員を適切に配置し、必修科目と選択必修科目の講義・実習を行っている。

○教職員の働き方については、内部では相当に努力して、連携を深め情報の共有に努力してきた。

○職員会議を定期的に行い、教職員の共通理解のもと学校運営にあたるようにしたが、時間の確保が課題として残った。

○監査や職業実践専門課程認定のために、規定を見直す機会が取れたのはよかった。

○HPでの情報公開は進んだが、今後、アップを定期的に行い、常に新しい情報をあげていくことが必要である。

## (2).今後の改善方策

○HPを担当している会社は大阪なので、こちらの情報や画像をこまめに送る。また、写真を撮るときには肖像権の関係で、確認をその場でとるようにする。

### 3. 教育活動

評価項目	評価達成結果
教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4 ③ 2 1
学科等のカリキュラムは、体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
授業評価の実施、単位認定、進級、卒業の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
資格取得の目標に向け指導体制、カリキュラム等の取り組みが行われているか	④ 3 2 1
人材育成目標達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか また、職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

#### (1).課題

- 美容師国家試験合格率100%を目指している。しかし、夏季の試験は残念な結果であった。年度末の国家試験に向け、担任だけでなく学校全体で合格率を上げるために指導中である。
- 校外で開催される全国理容美容学生技術大会中国地区大会、島根県美容技術選手権大会、SPC JAPAN 全日本理美容選手権大会山陰大会に毎年参加しており、また、本校主催のグランドコンテストに向けての取り組みで技術向上に努めている。大会の期日が近かったり参加校が少なかったりした。見直しが必要である。
- 学生数が少なくアットホームな良さはあるが、将来を見据えて厳しさのある指導が必要と思う。
- 学生数の激減のため、総合美容技術のコース選択が自由にできなくなっている。
- 職業実践専門課程認定要件を満たすため、企業と連携した実務研修が必要になった。少人数の学校ではあるが、研修をよい機会ととらえていきたい。研修規定も整った。

#### (2).今後の改善方策

- 次年度は、SPC山陰大会ではなく、中国地区SPC大会に参加する。(費用の関係、期日の関係)
- 校内での日々の指導については、職員の共通理解を図り、下校時の学級の整頓、実習室の清掃に指導の重点を置いて、指導を続ける。
- コース選択については、学生にコース説明(シラバス)と同時に実情を提示し、より希望に近い形を模索する。

### 4.学修成果

評価項目	評価達成結果
就職の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
退学率の低迷が図られているか	4 ③ 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

#### (1).課題

- 就職率は8年間連続で100%であるが、離職する生徒もいた。
- 資格取得に向けて学生は頑張っているが、費用負担はかなり大きい(検定料、モデルも含めた交通費)。メイク検定は校内で講師資格を持った教員がいるので、よかったと思う。
- 授業内容によっては、相モデルで実習することが多く、資格取得に向けてもコース選択自体、制限が出てスムーズに進められなくなった。
- 高等課程においては日曜日のスクーリングもかなり入ってくるので、これまでと同様の受験は難しい。
- 退学者が出たが、本人の経歴からある程度予測できた。入学選考で考慮が必要か？
- 県内就職、あるいは近郊出身の卒業生については、動向がある程度把握できるが、県外出身、県外就職の動向は把握できないことがある。

#### (2).今後の改善方策

- 国家試験合格者を100%に目標設定をして、学生に常に意識させて指導にあたる。

## 5. 学生支援

評価項目	評価達成結果
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1) 課題

○学生がアルバイトを希望するので紹介するが、本人の意識が甘くすぐにやめたり無責任な行動をとる場合があり、本校の信用が損なわれることがあった。

○卒業生で資格未取得者については、練習の機会を引き受けたり受験票の提出を促したりするが、忙しいのか意識が低いのか本気度が伝わってこない場合があった。

### (2) 今後の改善方策

○卒業生とは繋がりを切らないように元担任を中心に声をかけていく。教職員の異動が少ないので可能と思う。

○国や県の支援制度を適切に利用していく。正しい情報を学生に伝えるよう情報チェックを小まめに行う。

○アルバイト紹介の前に、アルバイトに対する姿勢や働くことの厳しさについて確認をとる。

## 6. 教育環境

評価項目	評価達成結果
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 ② 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1) 課題

○実習室の設備は整えたが、毎日使うので当然傷みはくる。特殊な設備なので業者も少なく修理費がかなりかかる。

○学生寮という言葉で誤解を招くことがある。

### (2) 今後の改善方策

○財務状況をみながら、設備投資をしていくが、早急にはできない状況である。そのためにも学生を増やす必要がある。

○パンフレット等では「学生寮」を「学生アパート」という表記に変える。

## 7. 学生募集

評価項目	評価達成結果
学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 ② 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 ② 1
学納金は、妥当なものになっているか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1) 課題

○今年度、オープンキャンパスを毎月開催(7月は2回)したが、参加者が分散し、一人参加の時が何度かあった。

○学校訪問等で感じることは、高等課程においてはとりあえず高卒資格は取得するよという風潮がより強くなっている。

○就職率100%についてはPRした。「先輩からのメッセージ」も関係校には送るよに努めた。最近はSNSなどでの情報発信が有効とも聞く。

## (2) 今後の改善方策

- 高等課程においては公立高校通信制課程にも入学し、高卒資格を取得できる道を開いた。ただし、本人の負担と実習時間不足が生まれるのは想定内であり、支援サポートを行わねばならない。
- 職業実践専門課程のメリットを学校訪問では伝えていく。
- オープンキャンパスの回数と開催日については、メリハリのある設定にする。ただし、個人的な見学は随時受付ということオープンキャンパスのチラシにも入れておく。
- 入学生が減る(2018年問題 18歳人口の減少)ので、社会人の学び直しの機会提供に力を入れる。
- 留学生受入も視野に入れる。

## 8. 財務

評価項目	評価達成結果
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 ② 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1) 課題

- 少人数でも講師料や設備投資は必要なので赤字が続いている。
- 冷暖房が集中管理になっている。暖房をそのままに窓を開けることがあったので気をつける。
- 今年度県による学校訪問調査(監査)を受けたが、補助金等は正しく執行していると認めていただいた。

### (2) 今後の改善方策

- いっそうの経費節減に努める。
- 入学生を増やす。

## 9. 法令遵守

評価項目	評価達成結果
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1) 課題

- 評価に関する情報公開が進んだのはよかった。評価を受け、どう生かすかが課題である。特に予算が関係してくる事項については、難しい。

### (2) 今後の改善方策

- 個人情報、HPやパンフレットなどの写真の肖像権確認等小まめに行う。特に外部の方については気をつける。

## 10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価達成結果
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1

4.十分に達成、3.概ね達成 2.まだ不十分 1.ほとんど進んでいない

### (1) 課題

- カットボランティアは学生、施設の利用者双方に有効である。授業時数に支障のない範囲で続けた。しかし、来年度協力できる学生が4名と減少するので、回数の見直しが必要になるかもしれない。
- 花火大会の浴衣着付けについては、継続していかないと広がらない。

### (2) 今後の改善方策

- 施設開放等は警備上無理がある。ハード面は駐車場の貸出(夏休みのラジオ体操)くらい。
- ソフト面(教員、学生、技術)の貢献について何ができるか検討をする。